

てん ぐ まえ こ ふん ぐん 天 狗 前 古 墳 群

所在地：東近江市横山町

天狗前古墳群とは

天狗前古墳群は、東近江市の西にある雪野山の南東麓から延びる丘陵上に位置します。天狗前古墳群周辺の雪野山山麓には^{きだいし}定石古墳群（11基）、^{ひうちだにこふんぐん}火打谷古墳群（6基）が、^{ふせ}布施山の山麓には^{いなたりやまこふんぐん}稲垂山古墳群（2基）、^{せんごくいわやこふん}千石岩屋古墳が、^{ぬのびき}布引丘陵には、^{ひらここふんぐん}平子古墳群、内田古墳、一の谷古墳が築造されています。

天狗前古墳群は、20基以上の古墳が存在していたといわれていますが、現在、4基が残されています。古墳群の時期は6世紀中葉から7世紀初頭と考えられ、石室の構造が階段式石室であることから渡来系の人々の墓である可能性があります。

古墳の発掘調査

昭和 37（1962）年に名神高速道路建設に伴い6基が、平成 2（1990）年に横山古墳公園整備事業に伴い2基の発掘調査がされています。

墳丘が残っている7・10号墳は直径が約 15mから 20mあり、円墳と考えられています。石室は横穴式石室と羨道と玄室の境に段を持つ階段式石室の2種類があります。

石室の規模、立地状況から各古墳の造られた順番は10号墳、7号墳を造った後、1号から6・8・9号墳を丘陵の斜面に造ったと考えられています。



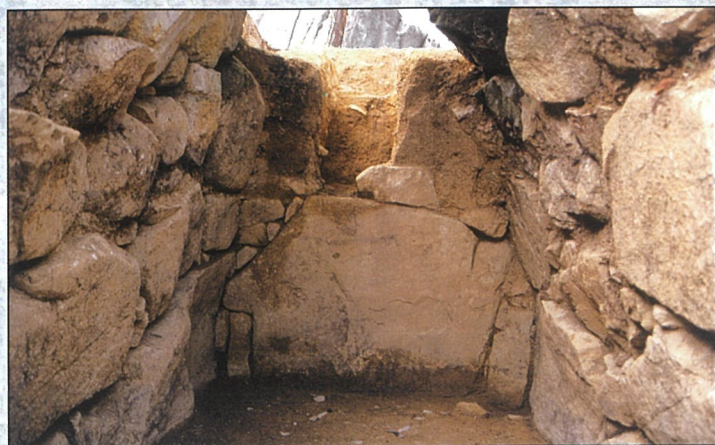
天狗前古墳群遠景



天狗前古墳群7号墳 近景



天狗前古墳群10号墳 近景



7号墳 石室内部奥壁



7号墳 石室内部玄門部

階段式石室について

階段式石室は、出入口の羨道^{せんどう}とよばれる通路と棺^{ひつぎ}を納めるための部屋である玄室の境に石を階段状に並べ、羨道と玄室に高低差が出るように作られた石室です。

滋賀県内では天狗前古墳群のほか、祇園古墳群^{ぎおんこふんぐん}（東近江市祇園町）、常楽寺山古墳群^{じょうらくじやまこふんぐん}・竜石山古墳群^{りゅうせきざんこふんぐん}（近江八幡市）、上蚊野古墳群^{かみがのこふんぐん}（愛荘町）などの古墳があります。

出土遺物について

発掘調査では7号墳の羨道や玄室からお供えをするための土器である須恵器^{すえき}がまとまった状態で出土しました。

10号墳からは須恵器や鉄製品^{てつせいひん}のほかに、古墳の周りに立て並べた埴輪^{はにわ}が出土しました。また、2号墳からは身に着けていた装身具である金環^{きんかん}（耳かざり）が出土しました。



7号墳 羨道部遺物出土状況



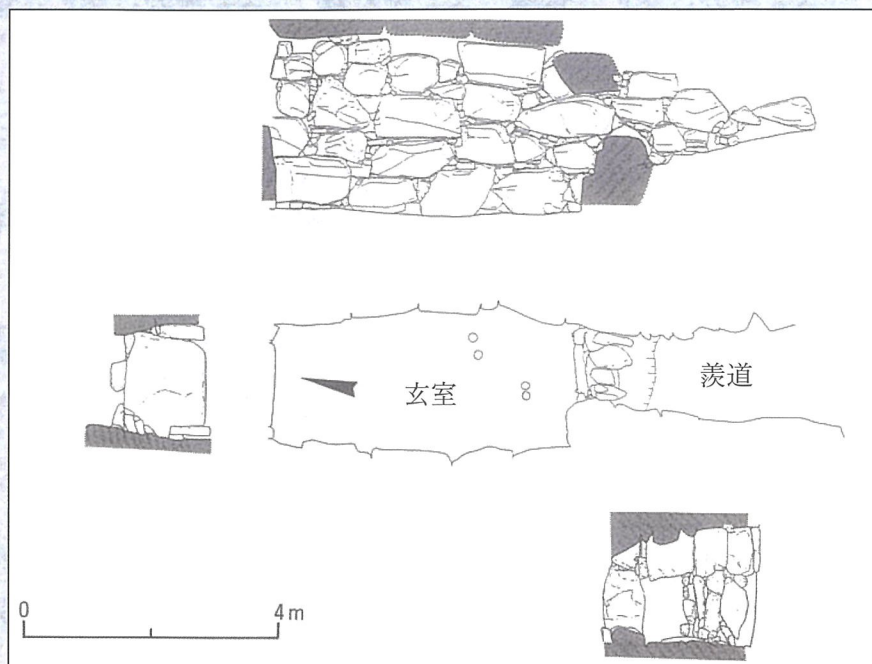
10号墳 石室全景及び遺物出土状況



10号墳 墳丘裾部（奥に埴輪列）



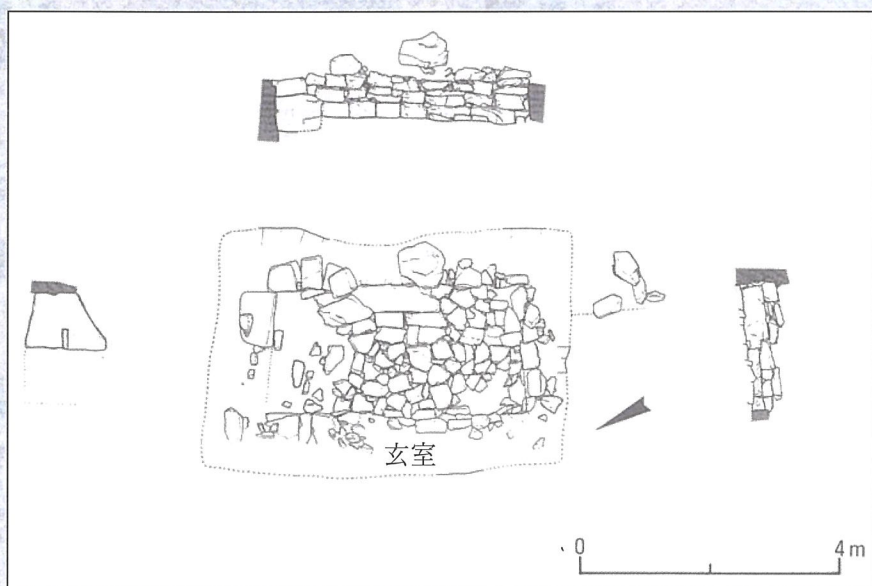
10号墳 外護列石出土状況



◀ 7号墳の石室実測図

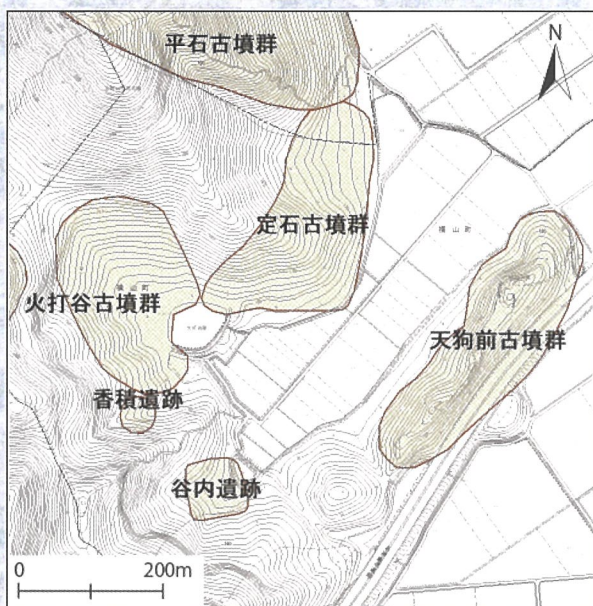


▲ 10号墳 埴輪列出土状況

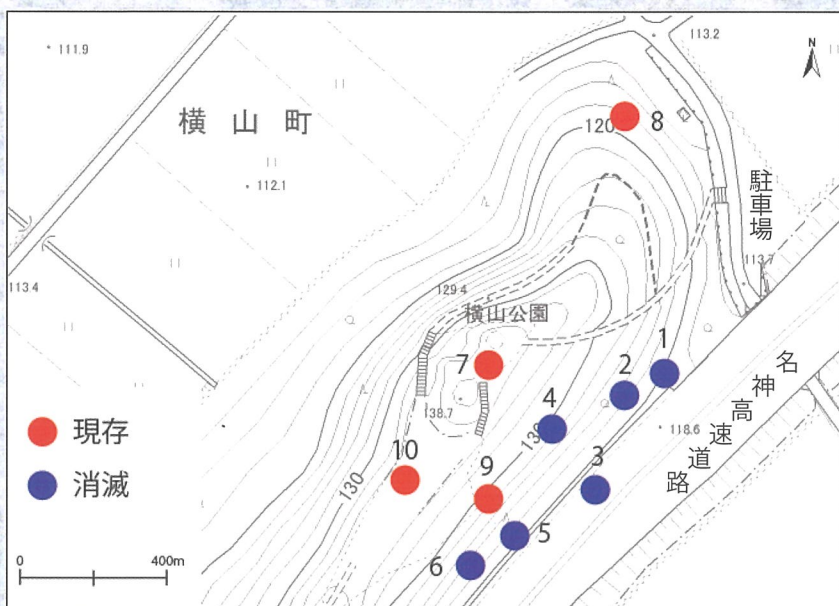


▲ 10号墳 鉄鏃出土状況

◀ 10号墳の石室実測図



遺跡位置図



古墳の分布状況

天狗前古墳群一覧表

番号	立地	構造	墳丘と石室の規模	出土遺物	年代	現状	備考	
1	山腹 南斜面	横穴式石室 片袖式、崩壊	墳丘 規模不明 玄室長 3.0m 玄室幅 2.0m	須恵器（杯身） 鉄製品（刀子）	6世紀後半 ～ 7世紀代	消滅	昭和 37 年度調査	
2		横穴式石室 礫床、崩壊	墳丘 規模不明 玄室長 3.0m 玄室幅 2.0m	須恵器（杯身、高杯） 土師器、金環				
3		横穴式石室 両袖式 天井石 3 枚遺存	墳丘 規模不明 玄室長 3.6m 玄室幅 1.6m～1.8m 玄室高 2.0m 羨道長 2.8m 羨道幅 1.0m	—				
4		横穴式石室 両袖式 天井石 2 枚遺存	墳丘 規模不明 玄室長 3.5m 玄室幅 1.4m～1.6m 玄室高 2.0m 羨道長 4.4m 羨道幅 1.0m 羨道高 1.0m				昭和 37 年度調査 1～6号墳中最高所	
5		横穴式石室 両袖式	墳丘 規模不明 玄室長 3.2m 玄室幅 1.7m～2.0m 玄室高 1.0m 羨道長 4.4m 羨道幅 1.3m				昭和 37 年度調査	
6		横穴式石室 片袖式 天井石遺存	—	—			昭和 37 年度調査 （写真撮影のみ）	
7	山頂	階段状の石室 （玄室と羨道との 高低差 1.1m）、 礫床	墳丘径 約 20m 玄室長 4.9m 玄室幅 1.9m～2.2m 玄室高 2.5m 羨道長 3.0m 羨道幅 1.1～1.3m	須恵器（杯身、杯蓋、 高杯、甕、器台、壺、 提瓶）	—	現存	平成 2 年度調査 横山自然公園内	
8	山腹 北斜面	石室露出	墳丘 規模不明 玄室 規模不明	—			—	未調査
9	山腹 南斜面	石室半壊、露出	墳丘 規模不明 玄室 規模不明					
10	山頂	階段状の石室 （玄室と羨道との 高低差 0.4m） 敷石 外護列石状石列 埴輪列	墳丘径 約 15m 玄室長 4.0m 玄室幅 2.1m 玄室高 1.1m 羨道長 3.0m 羨道幅 1.1～1.3m	須恵器（杯身、杯蓋、 高杯、甕、器台）、 鉄製品（鉄鏃、刀、 刀子、釘）、埴輪片 （円筒埴輪、朝顔形埴輪）			6世紀中葉 ～ 6世紀末	平成 2 年度調査 横山自然公園内

古墳へのアクセス

公共交通

JR 近江八幡駅南口より近江鉄道バス「北畑口」もしくは「長峰集会場」

行きに乗り、「北部工業団地前」下車徒歩 30 分

近江鉄道「京セラ前駅」より徒歩 35 分

近江バス「あかね古墳公園前」より 20 分

自家用車

蒲生スマート IC より 3 分

駐車場 横山自然公園内駐車場（普通車約 10 台）



東近江市の遺跡 シリーズ 23

「天狗前古墳群」

編集・発行 東近江市埋蔵文化財センター

〒521-1225 滋賀県東近江市山路町 2225

TEL:0748-42-5011 I P:050-5801-5011

FAX:0748-42-5816 [令和 7 年 3 月発行]